

医療リベラルアーツ 責任者：微生物学講座・分子微生物学分野 佐々木 実教授
生理学講座・病態生理学分野 佐原 資謹教授

第3学年 前期・後期

講義
前期 10.5時間
後期 7.5時間

教育成果（アウトカム）

他領域で活躍している講師による講義・演習を通して、多様な価値観を持つ他者を理解し、広い視野に立った物の見方や考え方が形成される。歯科医療に必要な専門英語を習得することにより、医療に必要なコミュニケーションスキルの向上と構想力が養われる。（ディプロマポリシー：1、3、5、7）

事前学修内容及び事前学習時間（30分）

ユニット1～7については、シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、一般書やインターネット等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。事前学習内容をノートにまとめ当日持参すること。

ユニット8～12については、各回到達目標の内容に関し教科書を用いて調べるものとし、各回最低30分を要する。WebClassにテキストの音声ファイルを公開する。適宜、事前学習内容の発表時間を設ける。

講義日程

ユニット1～8の講義においてはディスカッション形式を取り入れて行う。

ユニット9～11は小人数のグループ学習形式により行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 【コア・カリキュラム】
4月10日 (金) 3限	川村 央隆 (岩手県国際交 流協会)	ユニット1 多文化共生 外国人患者への対応方法 を習得する。	1. 多文化共生社会の定義を述べるこ とができる。 2. 異なる価値観、異文化理解の必要性を 述べるこことができる。 3. 外国人患者が来た時の対応方法を述べるこ とができる。 [A-4-1)-①②] 事前学習：講義内容に準じる領域についてイ ンターネット等で検索し講義に望むこと。
4月17日 (金) 3限	島貫 亮一 (トミーインタ ーナショナル)	ユニット2 矯正歯科材料の開発から 販売まで 歯科材料の製品化までの 流れを理解する。	1. 歯科材料のマーケティングを説明する。 2. 製品の企画、開発、販売の流れを述べるこ とができる。 3. 企業の分業体制を説明できる。 4. 企業がグローバル化する背景を述べるこ とができる。 [A-2-2)-①②、D-1-①⑤⑥] 事前学習：講義内容に準じる領域についてイ ンターネット等で検索し講義に望むこと。
4月24日 (金) 3限	小野寺 憲一 (病院長顧問)	ユニット3 モンスターペイシエント への対応 患者とのトラブル防止及 び回避方法を習得する。	1. 医療と悪質クレームの関係、およびクレ ームの例を述べるこことができる。 2. モンスターペイシエントのタイプを列 挙する。 3. 診療時に暴力事案が発生した場合の処 理要領を述べるこことができる。 [A-4-2)-①～⑦] 事前学習：講義内容に準じる領域についてイ ンターネット等で検索し講義に望むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月8日(金) 3限	矢野 明 (生物工学研究センター)	ユニット4 食と健康 地域の農林水産資源が有する健康機能性について学び、疾病予防への活用可能性を理解する。	1. 食の機能を知る 2. 日本社会の人口構成変化を背景とした、健康づくりの重要性を学ぶ 3. 岩手県の農林水産資源に含まれる有効成分や、その活用事例を知る 事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に望むこと。
5月15日 (金) 3限	吉田 亮 (ホテルメトロポリタン総支配人)	ユニット5 接客とクレーム処理 良好な対人関係を築くため、ホテルサービスを事例として提示し、接客の特性とサービスの満足度、およびクレームの発生メカニズムを習得する。	1. 接客を定義し、その特性を述べるができる。 2. 事前期待と実績評価の関係を説明する。 3. サービス(接客)の満足度の決定要素を列挙できる。 4. クレーム発生のメカニズムとその原因を分析し、対応策を述べるができる。 5. 実務上難しい取組と簡単な取組を説明できる。 [A-4-2)-①～⑦] 事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に望むこと。
5月22日 (金) 3限	二瓶直登 (東京大学大学院農学生命科学研究科准教授)	ユニット6 食品と放射能 放射能事故による人体への影響を正しく理解するため、食品の放射線学的安全性について修得する。	1. 放射線被ばくに関する単位を列挙する。 2. 外部被曝と内部被曝の違いを述べるができる。 3. 身の回りの放射線について述べるができる。 4. 体内と食品中の自然放射性物質を列挙する。 5. 食品の放射能に関する基準値の考え方を説明する。 [B-2-4)-①②] 事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に望むこと。また、スマートフォン等を利用したクイズを講義中に行う。
5月29日 (金) 3限	堀江 皓 (岩手大学名誉教授)	ユニット7 産学連携による地域産業おこし 産学連携による地域産業おこしについて理解する。	1. 我が国の産学連携の歴史について説明する。 2. 産学連携機関とその役割について説明する。 3. 産学連携の具体的手法と技術移転例について説明する。 [A-8-1)-①～③] 事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に望むこと。
9月11日 (金) 3限	James Hobbs 教授 (教養教育センター外国語学科英語分野)	ユニット8 医学／歯科の基本用語(1) 基礎的な医学/歯科用語を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. 医学／歯科用語の成り立ちと基本構造を述べるができる。 [A-7-2)-①]
9月16日 (水) 1限	DTP 担当教員	ユニット9 医学／歯科の基本用語(2) 基礎的な歯科用語を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. DTP 分野に関連した歯科用語の成り立ちと基本構造を述べるができる。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。 [A-7-2)-①]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月8日 (木) 1限	TxAD 担当教員	ユニット 10 医学／歯科の基本用語 (3) 基礎的な歯科用語を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. TxAD 分野に関連した歯科用語の成り立ちと基本構造を述べることができる。 [A-7-2)-①]
10月15日 (木) 1限	TxAD 担当教員	ユニット 11 医学／歯科の基本用語 (4) 基礎的な歯科用語を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. TxAD 分野に関連した歯科用語の成り立ちと基本構造を述べることができる。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。 [A-7-2)-①]
2月10日(水) 1限	James Hobbs 教授 (教養教育センター外国語学科英語分野) 佐原資謹教授 (病態生理学分野) 間山寿代講師 (歯科矯正学分野)	ユニット 12 医学・歯学の基本用語／ 演習 1 (到達度評価試験)	1. 客観的な評価(到達度評価試験)をうけ、達成度と理解度を知る。 2. 結果のフィードバックをうけ、英語での理解度、コミュニケーション力の向上をはかる。

成績評価方法

1. ユニット 1～7 までは、各ユニットで提出したレポートで評価する。
2. ユニット 8～12 までは、英語到達度評価試験で評価する。
3. 本科目(医療リベラルアーツ)の評価は、前者(レポート)を 7/12、後者(英語到達度評価試験)を 5/12 の割合で算出し、総合評価点とする。
4. ユニット 1～7 で欠席した場合、あるいは期日内にレポート提出がない場合は、当該ユニットの評価を 0 とする。
5. 総合評価点が 65 点未満の学生には、全範囲(ユニット 1～12)を対象とする再試験を課す。

特記事項・その他

- ・スマートフォン等を利用したクイズを講義中に行う場合、指示に従いインターネットに接続できるように準備すること。
- ・ユニット 8～12 の専門英語に関しては、WebClass にテキストの音声ファイルを公開するので、活用すること。
- ・英語到達度評価試験により達成度と理解度を評価し、試験答案の返却(フィードバック)をおこなう。各々個人で、英語での理解度、コミュニケーション力の向上に努めること。